

<根拠資料 1 - 4 >

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

(34 科目分)

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 ロシア語講読入門 I

担当者氏名 佐々木 精治

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
<p>・(ロシア語テキストの読解の作業を通して)1年次に学んだ文法の知識を有機的に活用する力をつけること。</p>	<p>・個々の文法事項の本質的な理解がなされているか確認できるとともに、読解には文化的知識を持つことが必要であることを気づかせるテキストを選んで、学習者に取り組ませた（参照：添付資料①）。</p> <p>・上記のテキストに学習のポイントを記した予習教材（テキストの和訳）を授業に先立ってレポートとしてポータルサイトで提出させ、授業時にそれをスクリーンに映し出して、添削しながら、解説する（参照：添付資料②、③）。</p> <p>・提出レポートの添削を通して明らかになった個々の学習者の知識の欠陥を踏まえて必要な情報を補った復習用教材を作成し、これをポータルサイトで配布した（参照：添付資料④）。</p>	<p>・毎回次回の授業で取り上げるテキストを和訳して提出させることを義務付け、授業内でこれを添削指導した。</p> <p>・定期試験の作題に際して予習教材、授業教材、復習教材でポイントとして指摘しておいた事項の理解を点検できるものとするよう心がけた（参考：添付資料⑦）。</p> <p>・成績判定に当たっては、期末試験の結果を一定の割合で加味して評価した（参考：添付資料⑧）。</p>	<p>①、③、④</p>

<p>・辞書(露和辞典)の使い方に習熟すること。</p>	<p>ロシア語の場合、語学力とはある程度まで、辞書を的確に使いこなせるかどうかで決まる。 授業に先立って配布する予習用教材には、辞書の引き方の指示を含めた予習の際の注意ポイントを付してある(参照:添付資料②)。</p>		<p>②、③、④</p>
<p>・語彙力をつけること(CEFR-B1レベルで要求される語彙を学年末までに習得させる)。</p>	<p>授業の教材の学習とは別に、『ロシア重要単語2200』(白水社)の最重要単語730個の例文一覧(文法解説付き)を作成、配布し、各自で取り組ませた(参照:添付資料⑤)。</p>	<p>・毎回の授業で、指定範囲の単語について小テストを実施した(参考:添付資料⑥)。 ・期末の成績評価に単語テストの結果を一定の割合で加味した(参考:添付資料⑧)。</p>	<p>①、③、④</p>

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例:② ④)

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ(LOs)についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

[意見・感想ではなく反省として]

語学の授業の場合、講読(Reading)であれば、読解力の強化が目的なので、Los 言えば、①、②、③、④にまたがるものと解釈して、上記の通りの評価となった。

しかし、授業で扱ったテキストに基づいた問題で試験を行ったのでは、どれだけ読解力が養われたかを測定することは出来ない。仮に「シラバスの到達目標」に検定試験の等級を目安として掲げるとすれば検定試験用の問題集から出題するなど、いわば実力テストの要素を、少なくとも部分的に含んだ期末考査にすべきかと思う。単語に関してはある程度それが実現できているが、こんごは読解力全体を対象に期末交差のあり方を変えて行きたいと思っている。

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 歴史の社会学 I

担当者氏名 小林 和夫

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
日本の大学、格差、若者、就活をキーワードとして、これらの問題を歴史社会学的に読み解く能力を身につけること。	授業を、本の大学、格差、若者、就活をキーワードと区分し、歴史社会学的な視点ではどのように捉えるのかに焦点をあてた。	毎回、授業内容についてのリアクションペーパーを課題として提出させて、到達度を測り判定した。	① ② ③

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例：② ④)

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

LOsの測定・評価方法をどのようなものにするかが難しいと感じる。とくに文学部のような多様な領域をもつ学部 of 諸科目に対する測定・評価方法をどのような基準で策定していくか議論が必要だと思う。

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 近代文学作品講読A／近代文学作品講読B／日本近代文学講読

担当者氏名 山中 正樹

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
<p>近代日本文学の作品を鑑賞し、作家作品についての知識を得る。</p>	<p>日本の近代文学の主要な作品を集めた作品集をテキストとして、毎週の授業で一作品ずつ講読した。</p> <p>授業時には、単なる知識の伝達だけではなく、その作品をどう解釈するかと言う点について、教授者の《読み》と、創読める根拠や過程を具体的に示すことで、受講者が、自分で読書し思索する際の分析方法や手法を身につけられるように考慮した。</p>	<p>学期末レポートや毎週課している予習課題の内容の向上をもって判定するしかないのではないかと。</p>	<p>① ②</p>
<p>文学作品を分析するための視点や態度を涵養する。</p>	<p>その際、事前にその週で扱う作品を熟読させ、1000字程度の批評文を作成させ、「予習課題」としてポータルサイトから提出させた。</p> <p>それは、代表的な批評を抄録としてまとめ、印刷して全員に配布。授業の開始時に、教授者が、それぞれにコメントした</p>	<p>同上</p>	<p>② ③</p>

	り、授業内での解説の際に参照した。		

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例：② ④)

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

文学作品の解釈に関しては、数値化したり測定することがなかなか難しいと考える。そうした科目群について、数量化がしやすい科目と同じ基準で、一律にその達成を判定することは難しいはずだ。むしろ「文学」教育は、講義が終了した後、受講生一人ひとりの読書の質的充実や、実社会に出てからさまざまな現象を思考判断する際の思料となるはずのものであろう。

こうした科目の特質や資質・位置付けの違いを考慮しての測定・評価を勘案していただければ幸いです。

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価

分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 中国語通訳演習（日中）A・

担当者氏名 佐藤 素子

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
<p>①通訳という作業の基本要領を覚え、現段階では「巧みに」までは難しいですが、「早く、正確に」通訳できるように、正しい認識を持ちながら通訳に必要なとする基礎を作る。</p>	<p>一回目の授業は、「通訳とは」のテーマから始める。ディスカッションの形式で、1. どのような能力があるか。2.通訳と言う仕事とは、どのような仕事内容で、どんな責任を持っているのかを考える。</p> <p>討論内容を各グループで発表をして、教員が総括する。このテーマを、前期のすべての授業で深めて行く。</p> <p>通訳作業のプロセスを明らかにした上で（各段階の内容を、実際例を用いて詳しく説明をする）、数回に分けて、以下の内容で基礎練習を行います。</p> <p>〔1〕クイック・レスポンス（quick response）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回授業で行われる基礎練習の発表、及びその後のディスカッションの反省結果発表によって確認する。 ・ 課外練習状況及び感想の発表。 ・ 定期試験のレポートを点数化。 ・ 授業アンケートで確認する。 	<p>①②③</p>

	<p>[2] シャドウイング (shadowing) [3] リプロダクション (reproduction) [4] リテンション (retention) [5] サイトラ (サイトトランスレーション) (Sight translation)</p> <p>毎回の授業の最後に、必ずグループ反省会を行い、その日の練習や授業で得たもの・反省点をまとめ、クラス全体で発表して、内容を共有する。</p>		
<p>②講義通じて豊かな言葉の表見に触れ、二つの言語の違いや背景にある文化、歴史、生活様式、考え方の違いを考える。</p>	<p>基礎練習を通して、通訳として備えるべき力を正しく認識し、様々な通訳場面の練習によって訳す力を鍛えるだけでなく、以下の内容の資料を作り、練習を取り込んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重視すべき中国語の諸問題【介詞・接続詞・複文】 ・【よく使われる成語・漢詩】 ・【難語ピックアップ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回授業で行われる基礎練習の発表、及びその後のディスカッションの反省結果発表によって確認する。 ・課外練習状況及び感想の発表。 ・定期試験のレポートを点数化。 ・授業アンケートで確認する。 	<p>④⑤⑥</p>

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例：② ④)

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

--

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 ロシア語翻訳初級 I,II

担当者氏名 江口 満

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
ロシア語の基本的構造を理解し、意味に応じて正しい格変化を行い、簡単な文章をロシア語に訳せるようにする。 授業に出てくる基本文型の習熟度が8割に達するレベルはA, 7割はB.	日本語思考をロシア語思考に切り替えるための意識改革に努めた。そのために両言語の比較をして、重要表現を使った作文を繰り返し行った。	1. ロシア語検定を用いた小テスト 2. 作文を提出させて添削	④

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例：② ④)

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

--

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 相談援助実習指導Ⅱ

担当者氏名 岩川 幸治

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
①実習生として必要な配慮を学び、実習の準備ができる。	社会人としての基本的なルール（電話のかけ方、個人情報の取扱いなど）の確認をした。その後、ロールプレイを体験させ、どのように対応すべきか具体的なイメージを掴んでもらえるようにした。	翌週の授業で復習をし理解力を確認。必要に応じて説明を加えた。事後にアンケートで確認。	① ②
②実習先のアセスメントの整理ができる。	実習先分析シートを配布し、実習先の法的根拠、目的、市町村の特徴などを調べるように指導した。調べてきたものを踏まえてグループごとに話し合い、わからなかったところを明確化させ、解決方法を検討させた。その後、不明な点がなくなるように解説を加え、理解が深められようにした。	課題を課し、取り組み状況を確認する。事後に授業アンケートで確認する。	① ②
③相談援助実習で学ぶ目的・意義を整理し、実習計画書を作成することができる。	相談援助実習で学ぶ意義を初回授業で説明。実習でスムーズに学びが展開できるように、ワークシートを用いて、実習で学びたいこと・学ぶべきことを明確化さ	課題の取り組み状況・進捗状況から理解力を確認。レポートによる評価。事後に授業アンケートで確認。	① ② ③

	せた。そのワークシートを基に、実習計画書で立てる課題、課題を達成するための方法を考え、スムーズに実習計画書が作成できるように指導した。		
--	---	--	--

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例：② ④)

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 演劇論Ⅰ 演劇入門

担当者氏名 大野 久美

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
<p>①演劇の基本的概念を理解することができる。</p>	<p>全講義には毎回、内容を要約したレジュメ(2～3枚)を配布した。</p> <p>初回から3回目の授業で演劇の定義、言葉の語源について説明した。演劇を複合芸術として捉え、演劇を成立させるうえに必要な、基本的要素を詳しく解説した。特に、基本的要素に挙げられる戯曲、俳優、観客、劇場の関連性を理解させた。</p> <p>その上で、多くの学者、評論家によって論じられる演劇と人間社会との関係性、演劇の機能、構造についても論じた。</p> <p>授業内で「よく理解できた項目と一番興味深かった点」について小レポートを作成させ、授業内容の理解度、満足度、定着度を図るように努めた。</p>	<p>確認テスト、レポートによる点数化</p> <p>事後に授業アンケートで確認</p>	<p>① ②</p>

<p>②ミュージカルの歴史、形式についての知識が身に付く。</p>	<p>ミュージカルが何故、観客に広く受容される芸術として発展してきたかを説明した。</p> <p>『オペラ座の怪人』『サウンド・オブ・ミュージック』をDVDで鑑賞しながら、映画版と舞台演出の相違点を指摘した。</p> <p>主な劇中歌を取り上げ分析した。</p> <p>授業内容の理解度を測るために小テストを行った。</p>	<p>確認テスト、レポートによる点数化</p> <p>事後に授業アンケートで確認</p>	<p>① ②</p>
<p>③ ギリシア劇の形式、特に『王女メディア』の劇構造について論じることができる。</p>	<p>ギリシア劇の基本的な概念、特に悲劇の上演形式、起源、発展について確認した上で、アイスキュロス、ソフォクレス、エウリピデス、及び主要作品について解説した。授業では特に、エウリピデスの『王女メディア』をDVD（舞台版）で鑑賞しながら、主に、以下の視点から分析した。</p> <p>舞台装置と演出の特徴、プロロゴス（前口上）の意味を指摘した。</p> <p>エウリピデスの手法</p>	<p>確認テスト、レポートによる点数化</p> <p>事後に授業アンケートで確認</p>	<p>① ② ③</p>

	<p>を『メディア』における空間的ドラマトウルギーと題して分析した。</p> <p>授業内容の理解度を測るために小テストを行った。</p>		
<p>④ シェイクスピア劇、特に『オセロー』についての劇構造を論じることができる。</p>	<p>シェイクスピアの誕生、劇作家への道のり、シェイクスピアを取り巻いた人々について説明した。</p> <p>シェイクスピア劇の4大悲劇を解説した上で、『オセロー』を取り上げた。</p> <p>DVD（舞台版）で鑑賞しながら、主に、以下の視点から分析した。</p> <p>『オセロー』の原典について解説した。</p> <p>第1幕から第5幕までの重要な台詞を分析した。</p> <p>例) オセローの冒頭と最終場の台詞、イアーゴの独白、傍白、デズデモーナの最後の言葉など。</p> <p>第2幕、第4幕の「劇中劇」の構図について論じた。</p> <p>授業内容の理解度を測るために小テストを行った。</p>	<p>確認テスト、レポートによる点数化</p> <p>事後に授業アンケートで確認</p>	<p>① ② ③</p>

--	--	--	--

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例：② ④)

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

--

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 _____ 日本語教授法 I _____

担当者氏名 _____ 大塚 望 _____

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
日本語教授法の歴史と理論を理解すること(B)	10の教授法を講義の中で紹介し、背景となる理論、具体的な練習方法、教材や教具などを知る。さらに、実際に授業を行っている様子を動画で見て、その理論の実践を確認する。	定期試験の試験問題として出題。	①
それぞれの教授法の長所と短所を踏まえつつ、実際の日本語教育に活かしていくにはどうすればいいか、考えることができるようになること(A)	授業の様子を動画で見せた。その際に、「授業観察記録」（添付）のシートを配布し、どのような観点で授業観察をすればいいかポイントを示した。その後、グループでディスカッションし、その内容を発表。さらに、宿題として授業観察記録をまとめて提出させた。	ディスカッションの最中は机間巡視し、学生の様子を観察しながら、理解度や疑問点を知るようにした。さらに、宿題として提出させた授業観察記録を添削して返却した。 定期試験問題として出題。	②
外国語を学ぶうえで、その授業がどのような理論や背景をもとに、何を目指して組み立てられているものか客観的に分析し、改善の方向性を見出すことができるようになること(A)	同上	同上	②

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例：② ④)

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

--

教授法の名前		
授業内容（授業の流れ）		
問題点 （良くないと思ったところ）	改善のためのアイデア （こうすればもっと良くなる）	
感想（授業の内容、進め方、話し方、質問の仕方、教材、教具、クラスの雰囲気、教師の表情、ジェスチャーなど）		

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 社会調査方法論

担当者氏名 渋谷 明子

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
(1) 社会調査（質問紙調査、量的調査）における基本的な用語や概念について、説明できる。さらに、社会調査についての企画書を作成できる。 (B)	授業で基本的な用語や概念について、説明すると同時に、社会調査の企画書を1段階ずつ（問題意識、先行研究、研究課題、独立変数、従属変数の設定、質問案など）作成してもらい、一人ひとりの課題にコメントを付した。また、グループで研究	社会調査の基本的な用語や概念については、小テストを2回実施した上で（平常点）、期末試験を実施した。また、1段階ずつの課題（先行研究、研究課題、質問案）もそれぞれ評価して（平常点）、最終的な企画書（レポート）を評価した。なお、平常	①、③

	課題、企画書などを共有してもらい、参考にし合ってもらった。	点は 30%、期末試験は 30%、企画書(レポート)は 40%の割合だった。	
(2)(1)に加え、社会調査(質問紙調査、量的調査)の問題点や分析方法について、詳細に説明できる。さらに、社会調査について、目的や方法として妥当で、実現可能な企画書を作成できる(質問紙案を含む)(A)。	同上だが、用語や概念を頭の中で理解するだけではなく、実際に、理解していないと書けないはずの研究企画書を提出してもらうことで、本当に理解しているかどうかを確認した。うまく研究課題などを作成できていない人の質問にも答え、個別にも、繰り返し説明した。	同上だが、小テストや期末試験で、高得点を獲得できるか、最終的な企画書の評価を、より重要視した。	①、③

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例：② ④)

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ(LOs)についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

昨年のシラバス作成時に、「その到達目標を達成すると、どの成績をもらえるのかを明記する」と強調されていた記憶があり、上記の方法では、うまく分類することができませんでした。成績ごとに、たくさんの目標を記入してしまったため。LOsの②④の意味とその解釈がよくわかりませんでした。どちらかというと、論文よりは、文学作品の執筆などを意識した表現のようにも思えました。論文、社会調査の企画書、レポートなどに、自分の問題意識、考え、提案などをまとめるような場合は、②や④には該当するとは言いがたいようにも思い、○をつけにくかったです。メジャーによっても異なるのかもしれませんが、そのような項目があってもよいのではないかと思いました。

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 社会問題の社会学

担当者氏名 大梶俊夫

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

--	--	--	--

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例：② ④)

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

--

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 相談援助の理論と方法Ⅲ

担当者氏名 馬場 茂樹

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
①ソーシャルワークに求められる専門的機能について人間と環境の関係を理解する。	①人と環境の関係を社会環境、家庭環境、経済環境などで説明した。	①章立ての終了後に確認テストを実施。定期試験と合わせて点数化。事後に授業アンケートに確認する。	①
②ソーシャルワークに求められる専門的機能について理解する。特に7つの実践モデルの提唱者と内容が一致するようにする。	②様々な実践モデルとアプローチを事例を用いて説明した。モデルの提唱者と内容がなかなか一致しないという弱さがあった。具体的な使用に関しては、相談援助技術演習で確認を行った。	②章立ての終了後に確認テストを実施。定期試験と合わせて点数化。事後に授業アンケートに確認する。	① ②
③ソーシャルワークに求められる専門的機能について面接技術を理解し用いてみる。	③インタビュー面接、アセスメント面接などを説明し、支援のプランニングの立か方を教授した。具体的な使用に関しては、相談援助技術演習で確認を行ったが、十分に使いこなせない様であった。	③章立ての終了後に確認テストを実施。定期試験と合わせて点数化。事後に授業アンケートに確認する。	① ②
④ソーシャルワークに求められる専門的機能について援助者と被援助者の関係を学び、理解する。	④近年、用いられるようになったモデルとアプローチの方法を事例を通して説明した。	④章立ての終了後に確認テストを実施。定期試験と合わせて点数化。事後に授業アンケートに確認する。	① ② ③

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例：② ④)

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

--

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 英語科教育法Ⅲ

担当者氏名 尾崎 秀夫

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
中等教育の英語の授業で用いる指導法の種類や内容について理解し、説明できる。	毎回の授業で、例を出しながら説明した。課題として考えてきたこと、講義を通して学んだことを、ペアワークを通して共有してもらった。	定期試験による点数化。	②、③
各指導法の背景にある理論について理解し、説明できる。	毎回の授業でワークシートを用意し、講義を元に完成してもらった。同時に、ペアワークを通して共有してもらった。	定期試験による点数化。	②、③
中学校の英語検定教科書にある活動について、習得した指導法に基づいた教え方を考えることができる。	3回から4回の講義に1回の割合で、中学校の英語検定教科書にある活動を題材に、習得した指導法を用いどのように教えられるかクラス、ペアで考察した。	ペアで考察したことをクラス全体で共有し、講評した。	②、③

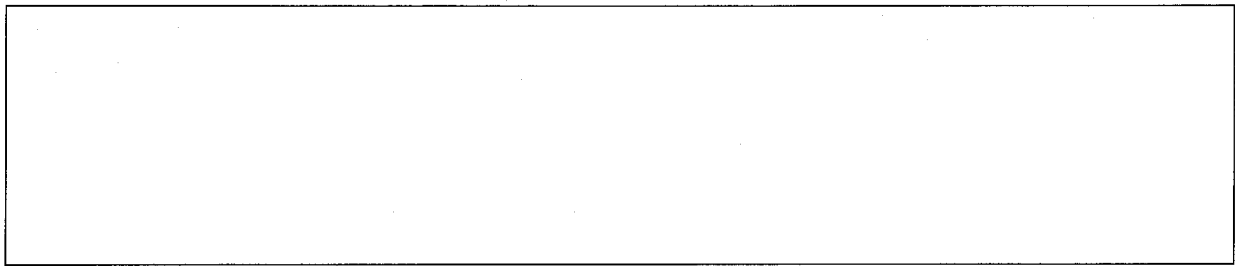
※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。（例：② ④）

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。



11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 アメリカ古典文学史

担当者氏名 浅山龍一

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
19世紀までのアメリカ文学の流れ、とくに思想史の理解。	9人の作家と作品を扱い、毎回の作家紹介の際、作家の思想上の特徴について述べた。	<p>期末レポートにおいて、3人の作家を取り上げさせ、作品に即しながら、特徴と思想史の変遷について述べさせ、点数化した。70/100満点。</p> <p>（また、授業中に、テキストについて学生に意見をいわせ、思想史的理解があれば平常点として加点した。1問1点。）</p>	①
アメリカ文学史から学んだことを人生の糧とする。	扱った内容をイギリス文学や日本文学の流れと比較し、影響関係について述べた。現代思想や文化との関係についても述べ、学生を世界市民に育てようとした。	<p>上記レポートに現代思想や文化との関連性が述べられているかを見て、成績に反映する。</p> <p>なお、上記とあわせて70/100満点とした。</p>	⑤
原文(英語)が読み取れる英語力を身につける。	毎回、4～5人の学生に作品の音読・読解をさせ、英語力をみた。さらに文法や語法について、全参加者に質問し、理解度をチェックした。19世紀までの作品なので英文は英検準1級(TOEIC730)以上レベルであり、学生の	音読・読解をした学生の英語力を1回につき、2点満点で加点。文法や語法についての質問に答えられた学生は1問につき1点加点した。上記の思想史的理解についての加点と合わせ、平常点は30/100満点とした。	④

	英語力向上には適当 と考えた。		

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例：② ④)

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

音読・読解をするメンバーは事前（前の授業）に「来週希望する者」に当てておいた。当たった学生は（前の授業の）復習と予習をして授業に臨むが、当たらない学生は出席だけの者もいる。全体として授業外学習時間が伸びない（1時間に満たない）という結果であった。

今後はポータルを通じて、毎回とはいかなくとも、2回の授業につき1回ぐらいの頻度で200字程度のミニ・レポートを提出させ、授業外学習時間を増やしたい。その場合の成績への反映の仕方についても考えたい。

英語力アップの成果をみるために、この授業を受けた者で、その後、英検準1級（TOEIC730）以上を取得した者のデータをとってもよいかもしれない。

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 イギリス古典文学史

担当者氏名 鈴木 邦彦

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
イギリス文学の流れ、重要な作家やその代表作について、英語や英語圏の文化に関心のある学生として必要な知識を得ること。	大きな流れについては初回の授業で概説し、個々の作家や作品については、毎回学生によるプレゼン、教員による補足や解説、時に関連するDVDなどで二重・三重に押さえた。また、代表作の一部を毎回プリントして味読した。	1) 授業時間内に提出する小レポート。2) CollabTest (授業以外の時間に学生が各自Web上で問題作成し、グループ内でコメントを付け合った上で教員に提出。またそれらの問題の中から編まれた確認テストを受験するシステム)。3) 定期試験。	①, ②③ (プレゼンやCollabTestでの作問の部分)
英文学を学ぶのは何の為という目的意識を常に持ち、また、通史の中から自分の興味を引く作家や領域を一つでも二つでもいいから見つけ出してもらいたい。	初回の授業で、外国の文学である英文学を学ぶ意義、更に英文学史を学ぶ意義について触れることにしているが、その後のこちらからの直接的な働き掛けは弱かったかもしれない。	各作家について担当を決めて学生にプレゼンをさせているので、自ずとそこについては興味を持ってもらったことと思うし、授業アンケートにもそうした書き込みを散見するが、定期試験でもこの点について尋ねるべきかもしれない。	同上

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例：② ④)

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 古文書学応用

担当者氏名 坂井孝一

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
「古文書」読解のスキルを応用して、人々が生きていた現場・権力者との交渉の実情を読み取り、前期とはまた別の角度から歴史のダイナミズムを実感できるようになること。	一通一通の文書を丹念に輪読するとともに、2・3人のグループを作らせて、内容に関する討論をさせた。	授業時間内に、文書について理解した内容を、グループごとに発表させるとともに、各人の意見を聞き取ることによって判断した。それに加えて、細かい知識を問う試験も実施する予定である。	②・③

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。（例：② ④）

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 哲学特講 A

担当者氏名 宮田幸一

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
近代哲学における真理論についての知識を得る。	教科書、プリントで講義した。	レポートを提出させた。	1, 2, 3
牧口の真理論の特徴を知る。	教科書、プリントで講義した	レポートを提出させた。	1, 2, 3
善悪についての功利主義の議論を知る。	教科書、プリントで講義した。	レポートを提出させた。	1, 2, 3

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。（例：② ④）

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 哲学概論 I

担当者氏名 宮田幸一

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
現代哲学における知識論の現状を知る。	教科書、プリントなどにより、講義した。	定期試験で、理解度を測定した。	1, 2, 3
知識と信念（特に宗教的信念）との関係を考察する。	プリントを使用して講義した。	定期試験で、理解度を測定した。	1, 2, 3
知識について自分なりの考えを持つ	プリントで多様な考え方を講義した。	定期試験で、自分の見解を述べさせた。	1, 2, 3

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。（例：② ④）

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 _____ 哲学講読（英語）A _____

担当者氏名 _____ 宮田幸一 _____

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
第1回のガイダンスで、詳しい説明をしますが、事前の予習とレポートは単位取得には不可欠です	毎回、プリントを予習させ、授業で、その和訳を、自己点検させた。	レポートを提出させた。	1, 4, 5

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。（例：② ④）

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 Academic Writing A I

担当者氏名 松島 龍太郎

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
構成と展開のしつかりした，コミュニケーションに効果的なパラグラフを，標準的な英語で書く力を身につけることを目標とする。（レベルB）	第1段階 2週を1単位として，教科書を用いて，その単位の到達目標を定める。	教科書の方針に基づいて単位ごとに作成した worksheet を用いた学習。 教科書がすべて英語であるため，授業の進行は日本語であるが，英語・日本語半々の割合である。	①②③
	第2段階 1単位終了ごとに，それに基づいた作文の課題を課す。それを第1稿とし，翌週 peer review を行う。	Peer review form を作成し，それを用いる。学生は，自らの書いた英語を持ち寄り，学生間で交換し，意見を述べ合う。	②③④
	第3段階 Peer review および担当教員のコメントを参考に，翌週第2稿の最終稿を提出し，教室で発表する。	担当教員は，教室での発表時コメントする。また，チェックをした英文を各学生に翌週返却する。	③④⑤
	適宜，英語の書き方，文章の書き方について指導をする。 学期末に，すべてを対象とする試験を行う。	学生の第1稿，第2稿を読み，各単位の目標が理解され，達成されているかを評価する。また，英語そのものについても評価する。	④⑤⑥

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましても、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。（例：② ④）

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

添付ファイルについて (第 1 段階, 第 2 段階 a, b で各 1 例)

第 1 段階 : 01 Worksheet

第 2 段階 a : 02 第 1 稿作成用ファイル

第 2 段階 b : 03 Peer review form

第 3 段階 : 学生の英文に担当教員が書き込みをし返却するので, 添付ファイルなし.

期末試験 : 添付ファイルなし. (ご希望の場合, 部外秘という条件で添付可)

12月5日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 中国の思想

担当者氏名 樋口 勝

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
①中国社会や伝統文化の基本的な知識を知る。	テーマを「中国人の思想」としているの で、伝統思想とそれが現代中国社会へどのように影響を与えているかを紹介した。	定期試験による点数化 事後に授業アンケートで確認	①
②中国人の思考方法と日本人との違いを知り、どう対処すべきかを考えることができる。	初回、2回目の授業で、日中関係の問題点を取り上げ、日本人と中国人の考え方の違い、対立点を説明した。 毎回、準備学習（課題）で基礎的事項を調べ、その評価・感想を提出して授業に臨んでもらったが、授業中に議論ができるような取り組みが弱かった。	定期試験による点数化 毎回の課題を点数化し、平常点（40％）として評価	③ ⑤

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 文化人類学 I

担当者氏名 井上 大介

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
1. 人間と文化の関係についての人類学的視点の習得を目的とする	以下の3つのポイントを事前に提示し、その到達をめざした。	以下の3つ評価方法で判定した。	
1-1. 文化人類学の基礎知識の習得	15回の講義の中で、進化主義人類学、機能主義人類学、象徴人類学、構造人類学、解釈人類学という理論的枠組について、それらに関連する専門書籍を通じ、時系列的に講義した。	呪術論、贈与論、ジェンダー論を中心テーマとしたレポート（計3回）で評価した。ここでは文献の内容をどの程度正確に、また包括的にまとめているかという点を基準に評価した。	①⑤
1-2. 文化人類学的理論をもちいて、身近な事象について考察し、論証することができる。	15回の講義の中で、それぞれの人類学理論をベースに身近な事例で考える時間を設け、ディスカッションを通じて深めるよう指導した。	授業で紹介した理論をひとつ取り上げ、その内容を整理するとともに自身の見解を示し、身近な事例で論証するという最終レポートの内容で評価した。	②⑥
1-3. 1-1, 1-2の課題において引用文献を提示しながら先行研究を整理し、自身の見解を示し、身近な事例で論証することができます。	先行研究を原本を読むよう指導し、また実際に講義でも原本の一部を読むという時間を設けた。	先行研究が引用文献とともに整理されている、先行研究に対する独自の見解が提示されている、論証に矛盾や無理がない、という点を基準に評価した。	③

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例：② ④)

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

--

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 西洋文化史／西洋文化史□

担当者氏名 岩倉依子

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
<p>中世ヨーロッパ社会の文化的基盤と、キリスト教と異教的伝統の中で民衆の心性がいかんかに形成されていったかを理解する。</p>	<p>まず、第1回～3回の授業では、古代から近代にいたるヨーロッパの歴史の大枠を捉えた上で、その中での中世社会の意義と特異性を理解させることを目的とした。その際、配布資料（地図、図版等）やプロジェクターによる図像を多用した。第4回以降は、中世ヨーロッパ文化を象徴する個別テーマを4つ取り上げ、そこにみられる中世社会を分析しながら、その背後の人々の心性を考察することを目的とした。ここでも、それらのテーマの理解を助ける配布資料、およびプロジェクターによる図像を多用した。</p>	<p>第8回目と第15回目の授業の最後の30分を使って、それまでの授業内容の理解度を測るための小テストを行った。授業の中で扱った、到達目標にいたるために理解が必要な個々の歴史的概念を複数設問し、ノート等を参照することなく、解答させるものである。これは、授業に出席し、ノートをきちんと取り、復習をして自分の知識とすることによって解答できる設問となっている。しかも単なる暗記による解答ではなく、自分の言葉で解説することが求められる。これは、いわばミクロのレベルでの理解度を測るものである。</p> <p>さらに、最終の定期テストでは、到達目標の理解度を測るための、論述形式の設問を行った。ここでは、設問に対して、論</p>	<p>① □ □</p>

		<p>理的に思考・分析し、小論文形式で解答することが求められる。これは、いわばマクロのレベルで理解度を測るものである。</p> <p>2 回の小テストと定期テストの結果をみると、平均点は以下のようになった。</p> <p>小 テ ス ト ① 36.884 点(50 点満点) 小 テ ス ト ② 33.928 点(50 点満点) 定 期 テ ス ト 72.571 点(100 点満点)</p> <p>平均点からみる限り、受講生はおおむね到達目標を達成できたと判定する。</p>	

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例：② ④)

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

--

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 東洋史概説 I

担当者氏名 村上 信明

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
講義内容を理解し、東洋史に関する知識を的確に把握・整理し、それに対する自らの考えをもつ。	小テストの実施	講義で解説した歴史的事象に関して10個のキーワードを提示し、8つ以上のワードを適切に使いこなして論述できていればB以上。さらに当該事象の歴史的背景に関して適切な認識をもっていればA以上。 (20点満点)	①, ②
歴史を学びながら、歴史を捉える自らの思考・感覚の特徴について考察できるようにする。	①小テストの実施 ②授業後における復習コメントの記入 ③自己評価レポートの作成	①授業のなかで学生自身が興味を持った事柄について、その内容とそれに関心を持った理由を考察し、自身がどのような歴史的視点・感性を有しているのかを論じることができればB以上(10点満点)。 ②毎回の授業で、自身がどのようなことに関心を持ち、そのことについていかなる考えを持ったのかを適切に論じられれば、毎回2点(計15回)。 ③授業内容に関して自身が何を、どの程度学んだかについて	③, ⑤, ⑥

		レポートを作成させた。東洋史の基礎的内容を踏まえつつ、自分で課題を発見し、適切な日本語表現・形式を用いてレポートを作成できれば B 以上 (40 点満点)。	
--	--	--	--

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例：② ④)

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 _____ ロシアの社会 _____

担当者氏名 _____ 小崎 晃義 _____

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
1991年から2009年までのロシア社会の変化について論述式の試験を行い、70%以上の正解率でB以上とする。また、授業中の質問、議論への参加などの積極性を評価に加える。	授業中の質問、議論への能動的参加を「積極性」として最終評価の10%を加味した。	毎回の授業で記録をとり、個々の積極性を10段階で判定した。	① ④

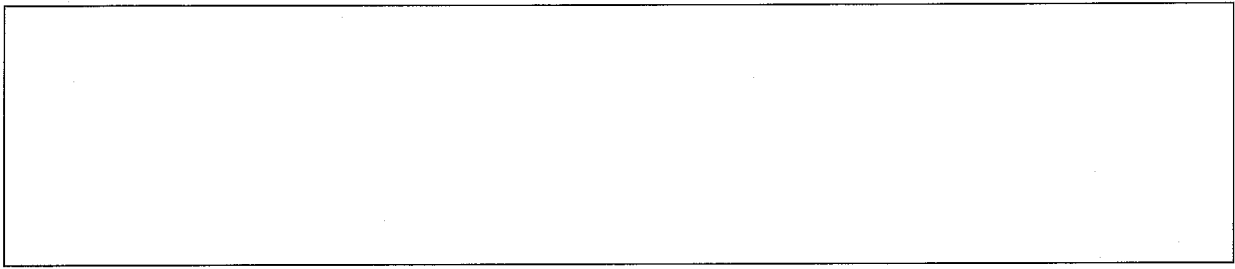
※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。（例：② ④）

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。



11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 近現代史研究

担当者氏名 季武 嘉也

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
⑤近現代社会について語られている諸言説を整理し、その意味と評価を探り、現代社会の理解を助けることを目的とする。	19世紀の「文明論」に始まり、現代の開発経済学に至るまで、日・欧・米の近代化についての言説を紹介した。分かり易くしたつもりだが、少し難しかったようである。	中間レポート 学期末定期試験 授業アンケート	⑤
①近現代社会についての基礎的な知識を備える。	授業では、なるべく幅広く色々な考え方を紹介した。授業中では指名して指したり、意見を問う形で進めた。	中間レポート 学期末定期試験 授業アンケート	①

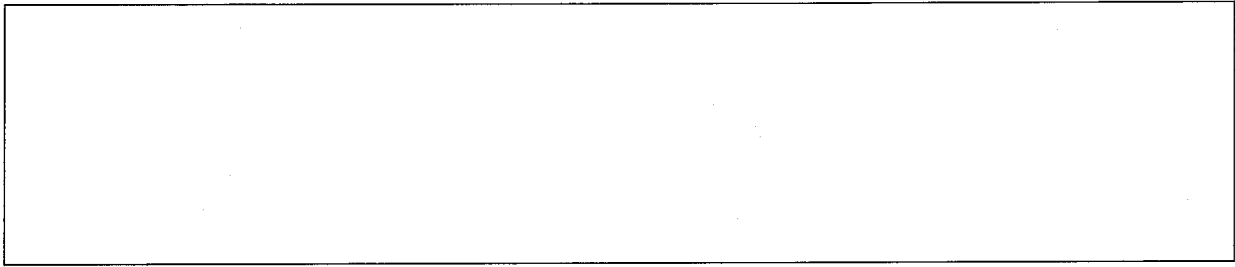
※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。（例：② ④）

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。



11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 東アジアの政治

担当者氏名 武 澎東

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
民主主義体制と全体主義・権威主義体制を区別することができる。 東アジアの政治体制や安全保障の仕組みがわかる。	国際政治のしくみと見方を説明する。 そのなかの政治体制と安全保障を中心とした授業を行った。	課題と定期試験による点数化。 授業アンケート集計表の授業に対する評価と学生の振り返り項目で確認。	①

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。（例：② ④）

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 Global Issues in English B I

担当者氏名 大崎 さつき

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
①ニュース英語の発話の速度に慣れ、必要な情報の要点を捉えて理解することができる。	各ユニットで扱うニュースの要点を聞き取る、あるいは Dictation をさせることでリスニング力を鍛えた。	聞き取りポイントを示し、それに対してどの程度回答できたか点数化することにより評価した。	④
②ニュースの要旨を書くことができる。	ニュースの要旨を書いて提出させ、添削。授業中にペアで清書をさせた。	要旨に対してABC評価で評価した。	④⑥
③シャドーイング活動を通して、英語音声の特徴を理解したうえで、正確に音読できる。	ニュースの一部をプロソディ分析したのち、音読、シャドーイングし、録音させた、録音した音声を Check lists をもとに各自省察させた。	提出した音声を教員が聞き、省察シートに教員のコメントを書き、次の音読活動に活用させていた。評価方法としては、Check lists を使用した。	④
④扱った内容についてインターネットで調査することや討論すること等を通して取り上げられたトピックについてさらに理解を深めることができる。	ニュースで扱われたトピックに関するネットサーチを行い、その内容をペアで英語を使って発表させ、そのトピックに関する理解を深めた。	自分で調査した内容とパートナーが調査した内容を英語でまとめたものをポータルサイトから提出させた。その内容をABC評価した。	④⑤

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

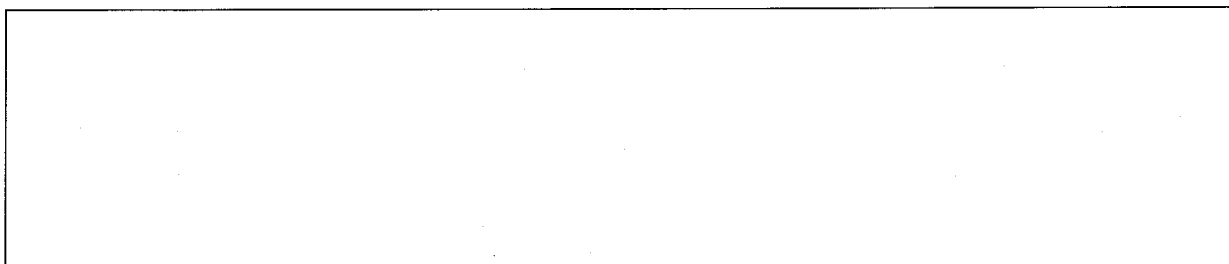
※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。（例：② ④）

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら

たら、自由にお書きください。

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for the user to write their response. It occupies the upper half of the page below the instruction.

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 英米文学講読 I / 英米文学講読 A I

担当者氏名 木下 薫

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
<p>(1) 英語の読解能力と文学作品としての分析能力を養う。イギリス文学の伝統と現在の姿にふれる機会を提供する。更に進んだ理解・研究への糸口とする。</p>	<p>「英語の読解能力」向上については毎回、事前に英語のオリジナルテキストの読解を全員の課題とし、ポータルサイトへの提出を求めた。加えて希望者によるテキストの他のページの読解後、毎回小グループによる確認作業を実施し、読解能力の向上に努めた。</p> <p>「イギリス文学の伝統の理解」については、作品の寓話性やアイロニー、ジャンル形成の歴史等を中心に、解説、質疑応答、ディスカッションに加え、数回学生によるプレゼンテーションも実施した。</p> <p>「更に進んだ理解・研究への糸口」については、「物語の理論」や「行為遂行的な発話理論」等、より新しい作品解釈のアプローチについても紹介した。</p>	<p>毎回の提出課題の事前チェックおよび点数化。</p> <p>プレゼンテーションを含む授業時の発表による測定と点数化。</p> <p>期末レポートによる理解度や論理性の判定とその点数化。</p>	<p>② ③ ⑤</p>

<p>(2) 本作品のテーマを適切に理解し、授業で読んだ箇所は、原文で理解できる。</p>	<p>「テーマの理解」については、作品成立の背景にあるロシア革命前後のソヴィエト、ロシアや欧州の歴史と作品との照応を可能な限り辿り、重層的な理解につめた。このテーマについても学生によるプレゼンテーションの後、質疑応答、ディスカッションを行った。</p> <p>「原文による理解の徹底」については、平易なりライト版や要約版は一切使用せず、オリジナル版を用いた。</p> <p>その際、小グループを作り学生間での朗読や語法の確認、解釈、テーマに関する質疑応答、ディスカッションもほぼ毎回行った。</p>	<p>上記(1)における測定、評価方法に加え、授業時のディスカッションの内容を紙に書き、授業後に提出を求めることで到達度の把握に努めた。</p>	<p>① ④</p>

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例：② ④)

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 日本語教育概論 I

担当者氏名 蓮沼 昭子

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
日本語教師として教壇に立つことを想定し、日本語教育の理論面と実践面の双方について、バランスの取れた知識の修得を目指す。	国内外における日本語教育の現状、言語教育の歴史、外国語教授法の歴史と現状、評価法、第二言語習得理論について講義を行い、日本語教師という職業の学際性や必要とされる知識・能力についての認識を促した。	教科書の1章が終了するたびに、小テストを実施し、復習を促し理解度を確認した。	② ⑤
	講義で扱った教授法を採用した日本語教育の授業のビデオを視聴し、日本語教育の実際がどのようなものを映像から学べるように工夫した。(15分から45分程度の場面を5回程度)	ビデオ視聴後に、観察できた事柄、感想・コメント等を用紙に記入してもらい、理解度や文章表現能力のチェックを行った。提出されたコメントを読み、教員からのコメント・評価を記入後に返却した。	③ ④
	理論と実践の双方についてバランスの取れた知識の定着度の確認	定期試験によって、学期内に学んだ事項の理解度を測った。	①

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましても、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例：② ④)

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら

たら、自由にお書きください。

とくにありません。

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 中東文化論 I

担当者氏名 石原 忠佳

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
「アラブの春」が中東各国にもたらした影響を把握し、イスラーム教を中心とした「宗教史」との関連から世界史全般を理解する。	近年目まぐるしく変転する中東情勢を、特に今年度は、外国のメディアがどのような視点から紹介しているのかを示した。	より広いテーマを把握する目的で、定期試験の他に随意のレポート課題を課し、「定期試験コース」と「定期試験・レポート・併用コース」のいずれかを履修者に選択させた。	① および ②

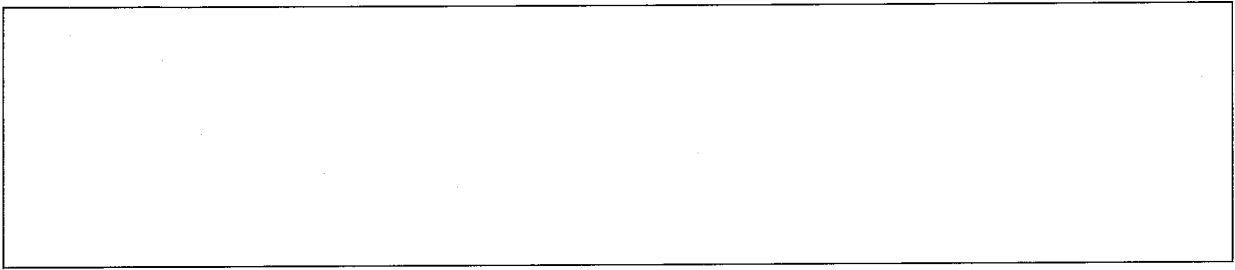
※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。（例：② ④）

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。



11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 仏教思想入門

担当者氏名 菅野博史

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
仏教の歴史と思想についての基礎的な知識を修得してほしい。とくに『法華経』については十分な理解を期待する。	教科書を中心教材として、丁寧に教科書の解説を試みた。	小テストと、仏教に関するレポートを提出させ、それによって判定した。	①

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。（例：② ④）

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 ジャーナリズムの社会学Ⅰ

担当者氏名 伊藤高史

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（各最大3つまで）
<p>人権（立憲主義）と民主主義への理解を深め、民主主義社会固有の「矛盾」とは何かを説明できる。また、その「矛盾」とメディアの関係の説明できる。</p>	<p>教科書を使いつつ講義の中で説明するとともに、教科書ではとりあげられていない具体例を新聞記事やビデオなどによって示した。また、全15回の授業のうち4回は、教科書をマインドマップ化する宿題を課し、それをもとに討議する時間にあてた。</p>	<p>宿題のマインドマップを提出させ、採点した。また、毎回、客観方式の小テストを行ったうえで、定期試験を行った。</p>	<p>②③</p>
<p>ニュースがつくられる基本的なプロセスとそれに関連する概念（客観報道、情報操作、記者クラブ等）を説明できる。</p>	<p>ニュースがつくられる基本的なプロセスとそれに関連する概念を説明した8000～9000字程度の資料を作成し、それを授業中に読ませた。またビデオ等でそれらに関連した具体例を示し、学生同士でディスカッションを行わせた。</p>	<p>毎回、客観方式の小テストを行ったうえで、定期試験を行った。</p>	<p>③</p>
<p>報道にかかわる基本的な法規制のあり方を説明できる。</p>	<p>教科書を使いつつ講義の中で説明するとともに、教科書ではとりあげられていない具体例を新聞記事やビデオなどによって示した。また、適宜8000～9000字程度</p>	<p>毎回、客観方式の小テストを行ったうえで、定期試験を行った。</p>	<p>③</p>

	の資料を作成し、それを授業中に読ませた。またそれら具体例について適宜、学生同士でディスカッションを行わせた。		
報道にかかわる基本的な概念をつかかって、現実の報道の問題点を分析できる。	教科書を使いつつ講義の中で説明するとともに、教科書ではとりあげられていない具体例を新聞記事やビデオなどによって示した。またそれら具体例について適宜、学生同士でディスカッションを行わせた。	毎回、客観方式の小テストを行ったうえで、定期試験を行った。	③

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例：② ④)

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ (LOs) についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 社会学史概説

担当者氏名 杉山由紀男

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

A シラバスに記載した授業の「到達目標」	B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか	C その到達度をどのような評価手法で測り、判定したか	上記ラーニング・アウトカムズ該当項目の番号（3つまで）
①社会学が「近代社会の学問的自己意識」と言われる理由を理解し、友人に向かって明瞭に説明することができる。	初回～3回目授業で、社会学成立の歴史的背景を授業でよく説明したが、後半は取り組みが弱かった。	定期試験による点数化 事後に授業アンケートで確認	①

<p>②社会学史、さらに広く学問の歴史を学ぶ目的と意義について一定の見解をもち、友人や両親などの他者に向かって、それを明瞭に論じ述べる事ができる。</p>	<p>初回の授業で、歴史および社会学の学説史を学ぶ意義をよく説明したが、それ以降の取り組みが弱かった。</p>	<p>定期試験による点数化 事後に授業アンケートで確認</p>	<p>①</p>
<p>③最低5人の社会学者の学説・理論について、概略を他者に説明することができ、私たちを取り巻く現代の諸問題の解明に、それをどのように適用できるかを明瞭に論じることができる。</p>	<p>毎回、社会学者の学説・理論に関するプリントを配布し、内容の要約・感想・疑問点を予習ノートに作成させ、コメントを添えて返却した。</p>	<p>毎回の小テストと定期試験による点数化 事後に授業アンケートで確認 ・毎回の予習ノートの点数化</p>	<p>①</p>
<p>④毎日の生活の中の身近な出来事と人類全体に関わる世界の歴史や出来事の両方に関心を持ち、両者を結びつけて捉えようとする「社会学的想像力」(W.ミルズ)を少しずつ広げていく。</p>	<p>毎回の授業の中で、社会学者の学説・理論をできるだけ現在の大小の諸問題と関連づけて説明した。 毎回の授業で複数回ディスカッションを行うことで、その涵養に努めた。</p>	<p>定期試験による点数化 事後に授業アンケートで確認</p>	<p>① ⑤</p>

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例：② ④)

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズについてのご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

11月28日

授業の「到達目標」の測定に関する報告書作成のお願い

教育活動の恒常的な自己点検・評価活動の推進のため、本学として、本年度は「ラーニング・アウトカムズの測定状況」に関する自己点検・評価報告書を作成する予定です。

つきましては、本年度（前期）ご担当の学部専門科目1科目について、以下の「自己評価報告書」にご記入いただき、12月19日（金）までにメールの添付にてご提出いただきますようお願い申し上げます。

文学部自己点検評価分科会

.....

授業の「到達目標」に関する自己評価報告書

科目／講義名 ロシア文学2

担当者氏名 寒河江光徳

<文学部ラーニング・アウトカムズ>

- ①人間と社会と文化に関する基礎的教養と専門的学術を修得し、諸事象を精確に理解、鑑賞、評価することができる。
- ②基礎的・専門的学知に基づいて、新しい知識と表現を創造することができる。
- ③論理的に思考し、適切な方法で情報の取得と処理を行い、物事の的確な判断ができる。
- ④母語および外国語を用いて、的確で豊かな自己表現とコミュニケーションを行うことができる。
- ⑤文化の多様性を尊重しつつ、世界市民として、生命の尊厳と平和を志向する。
- ⑥人間主義の社会に向かって、他者と協力する姿勢やリーダーシップを発揮する。

■授業概要

本講義では前期で行ったナボコフのロシア文学講義の続きを読むながら、ロシア小説の読み方を学んでいく。また「文学理論の基礎」を基にし、ロシアの大学で講じられている文学理論を応用した文学テキストの読解・分析の方法を学ぶことも同時に心がけていく(ただ教科書のコンセプトについては逐語訳で説明する)。

本講義はロシア文学講読とは違いロシア語の読解を目的とするものではない。日本語に翻訳されている作品については翻訳を参照することを可とし、ロシア語オリジナル、英文テキストを参照しながら原作の魅力を理解するよう努めていく。

A について シラバスに記載した授業の「到達目標」(以下シラバスより引用しました)

■到達目標

1. 書かれたテキストの意味を正しく理解し、必要に応じて適切な日本語に翻訳すること(評定のCに該当)
2. 個々の作品について授業で示された先行研究を読み、作品に込められた文学性(芸術性)を理解すること(評定のBに該当)
3. 授業で学習した文芸批評理論を応用し、自分なりのテキスト分析を展開する。それまでの研究では述べられなかった新しい言葉で作品の価値について表現する(評定のAに該当)
4. 1~3を踏まえ、文学作品と他の表象媒体との関連についてさらに考察が深められたらなお望ましい(評定のSに該当)

B その「到達目標」に対してどのように取り組んだか

受講者に日本語に翻訳させる、作品についての鑑賞を毎回のアンケートで確認しました。

C その到達度をどのような評価手法で測り、どう判定したか

レポート課題及び試験を行いました

授業の理解をしている、自分の言葉に咀嚼している、論理明晰に論証している等の項目にあわせ、それぞれの成績評価に反映しました

上記ラーニング・アウトカムズの該当事項

②③⑤

※上記については資料を添付され、記述内容を補っていただいてもかまいません。

※Cにつきましては、可能な範囲で根拠資料を添付していただければ幸いです。

※ラーニング・アウトカムズの該当項目については、授業の到達目標と関連すると思われる項目の番号で示してください。(例：② ④)

*記入枠が足りない場合はお手数ですが、枠を増やしてご記入ください。

○測定・評価手法やラーニングアウトカムズ(LOs)についてご感想・ご意見等がございましたら、自由にお書きください。

特にありません